

墨田区

観光まちづくり総合交通戦略

01. 観光まちづくり総合交通戦略策定の概要
02. コンセプトと将来像
03. 基本方針と観光回遊モデル
04. 総合交通戦略の施策展開
05. 交通施策の概要-1
06. 交通施策の概要-2
07. 交通施策の概要-3
08. 交通戦略の概要-4
09. 交通施策の推進目標スケジュール

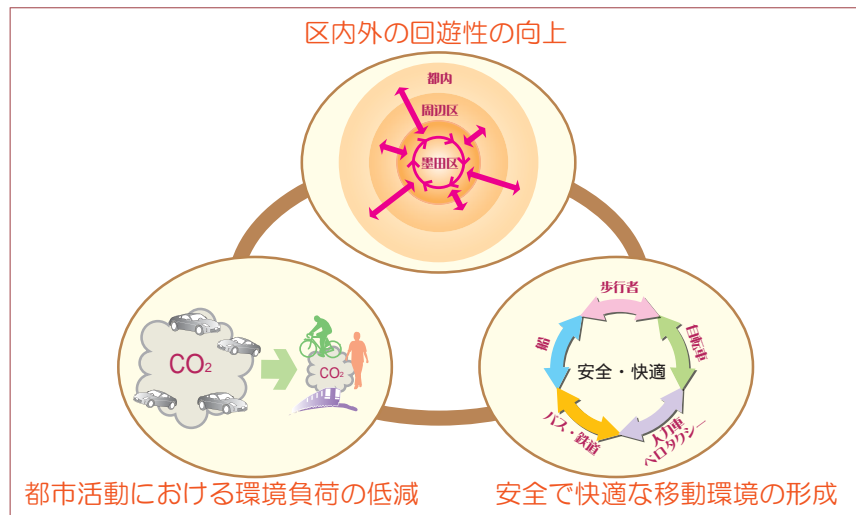
平成20年1月



01 観光まちづくり総合交通戦略策定の概要

1. 観光まちづくり総合交通戦略の策定の目的

新タワーを起爆剤とした「国際観光都市すみだ」の実現をめざし、複数の交通施策を効果的に組み合わせた総合的な戦略を策定することで、今後の都市の回遊性向上に資することを目的とする。

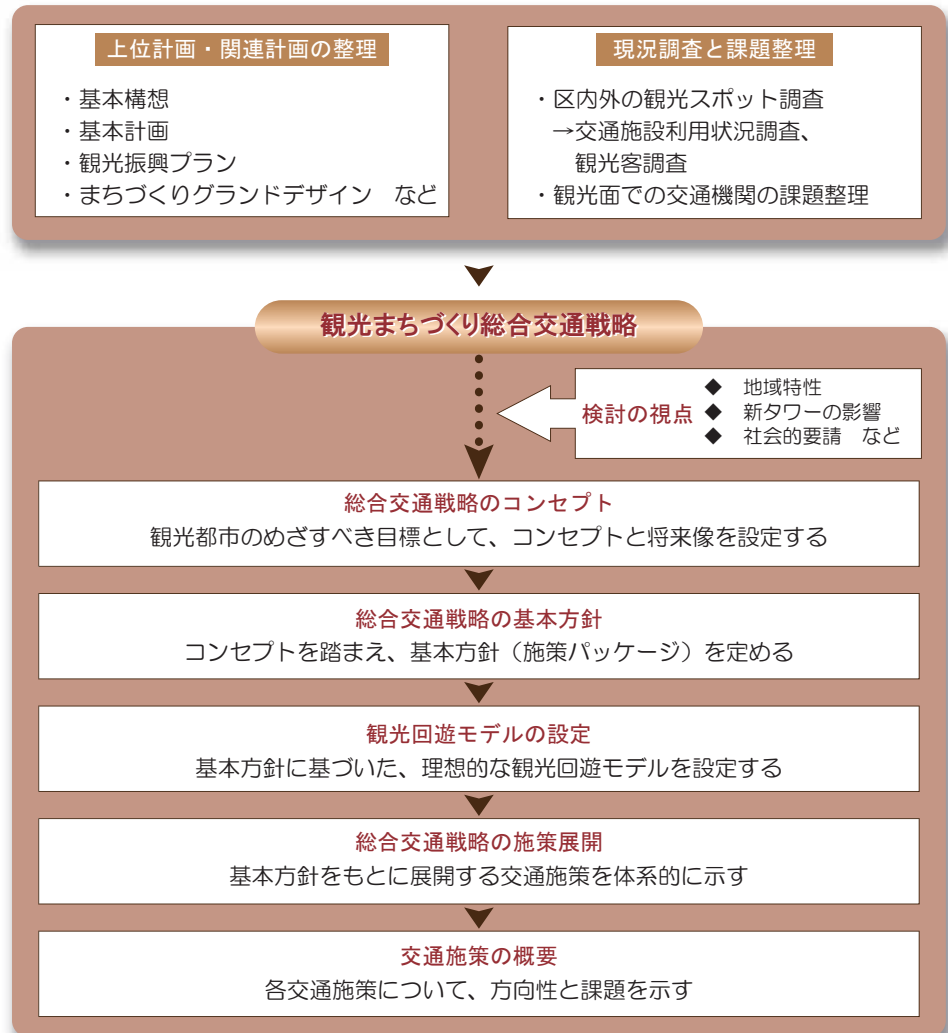


2. 検討範囲

総合交通戦略では、墨田区を訪れる観光客を中心に、区民の区内外にわたる交流も想定した範囲とする。



3. 検討の流れ



4. 検討スケジュール

| | |
|----------|-------------------|
| 平成19年 7月 | 有識者会議 |
| 平成19年 9月 | 中間のまとめ |
| 平成19年10月 | 区民意見募集（パブリックコメント） |
| 平成19年12月 | 有識者会議 |
| 平成20年 1月 | 最終報告 |

02 コンセプトと将来像

1. 目的達成に向けた視点と課題

区内外の回遊性の向上

- 【視点】
- ・区内外に点在する歴史・文化資源の活用
 - ・新タワー効果の活用
 - ・公共交通機関を活用した周辺区との連携基盤強化
- 【課題】
- ・観光地として魅力的な移動手段が不足している
 - ・観光客への案内・情報が不足している
 - ・連続的な歩行者回遊ルートが不足している
 - ・水辺環境が交通網として有効に活用されていない

安全で快適な移動環境の形成

- 【視点】
- ・安全な歩行者空間の形成
 - ・多様なニーズに対応する交通利便性の向上
 - ・観光客と地域との共存
- 【課題】
- ・スムーズな乗り換えの環境が整備されていない
 - ・快適な自転車の利用環境が整備されていない

都市活動における環境負荷の低減

- 【視点】
- ・環境負荷の小さい移動手段への利用転換
 - ・環境にやさしい生活スタイルへの転換
- 【課題】
- ・新タワー開業に伴い交通負荷の増大が予想される
 - ・便利で快適な公共交通の充実が求められている

2. コンセプト

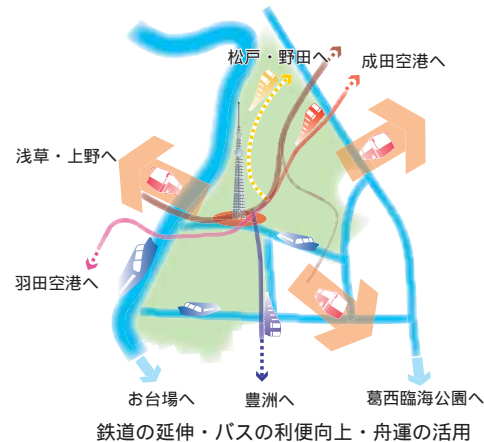
多様な機会を創造する 人と地球にやさしい交通の実現

人や環境にやさしく持続可能な交通機関の更なる充実を図り、便利で快適な移動手段を提供することによって、国内外にわたる人々の交流を促進し、もてなしや出会いの機会を創出する

3. 観光都市としてめざすべき交通の将来像

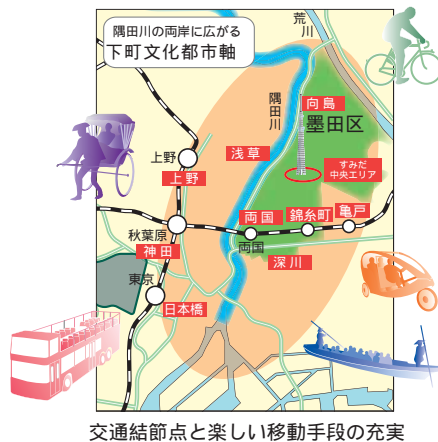
人にやさしく便利で快適な交通

- ・計画的に移動が可能となる広域的な交通ネットワーク
- ・外国人や高齢者など様々な利用者にとって安全で安心な利用環境



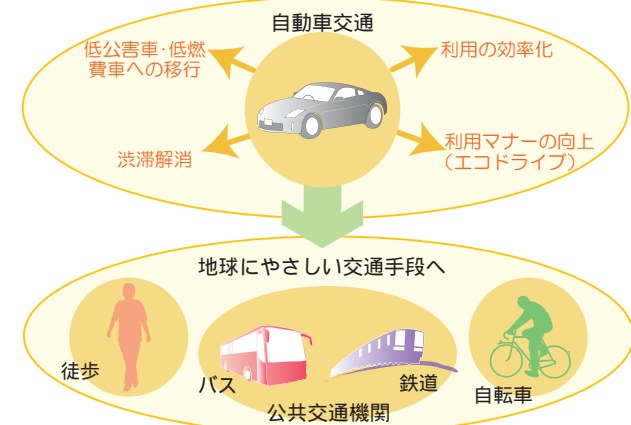
多様な機会を創造する交通

- ・街を楽しむ多様な手段を提供する交通結節点
- ・新しい発見に出会える楽しい移動手段



地球にやさしい交通

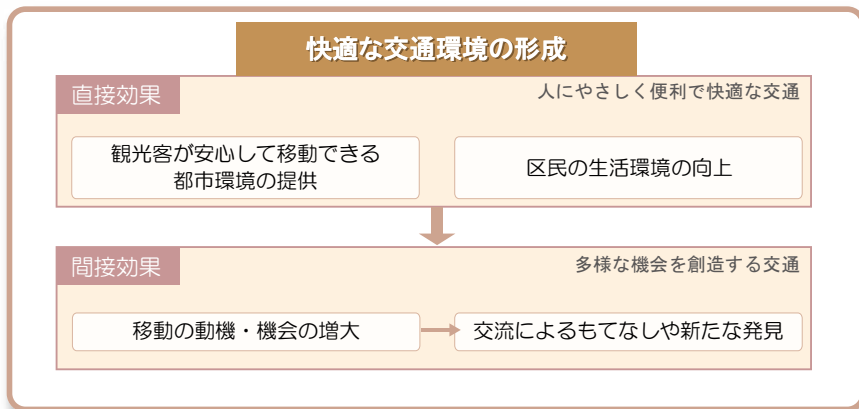
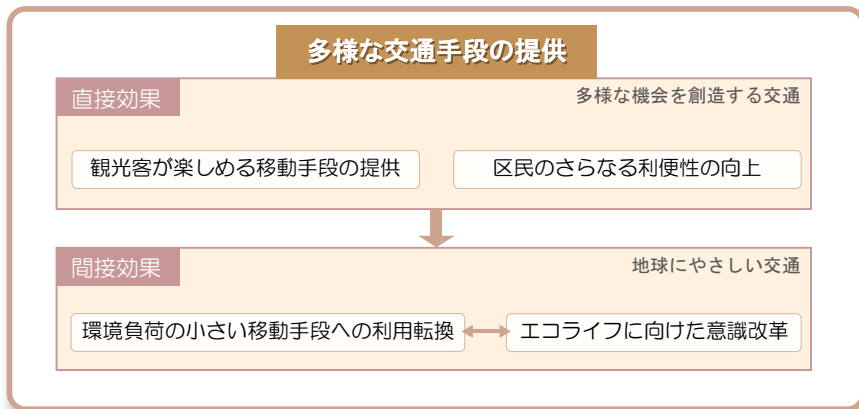
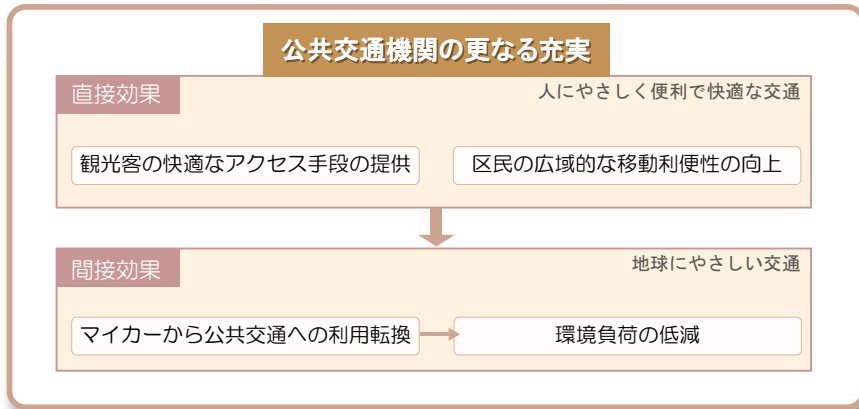
- ・優先的に利用される環境負荷の小さい移動手段
- ・エコライフに向けた意識改革を促す移動手段



下町文化都市軸：隅田川を軸にその両岸に広がる地域が一体となったまちづくり軸（押上・業平橋地区まちづくりランドデザインより）

03 基本方針と観光回遊モデル

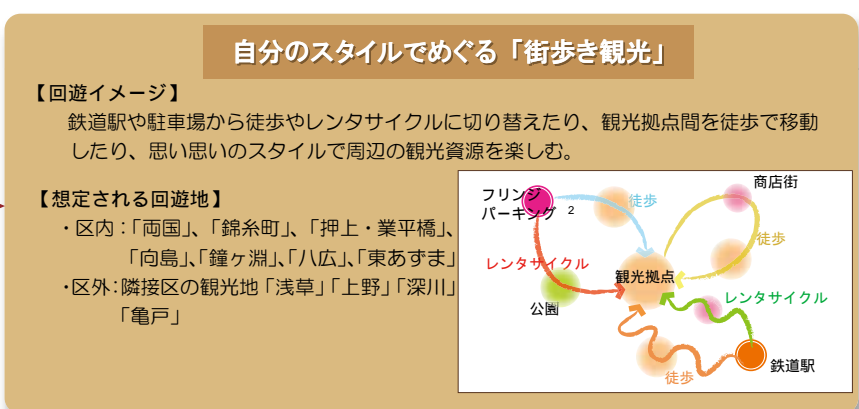
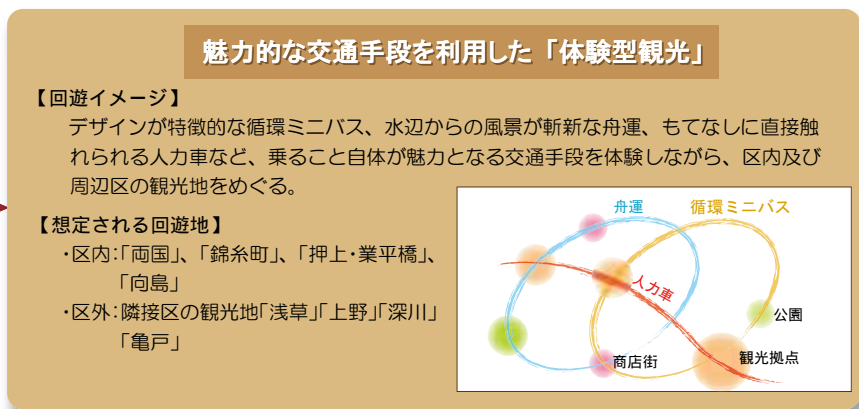
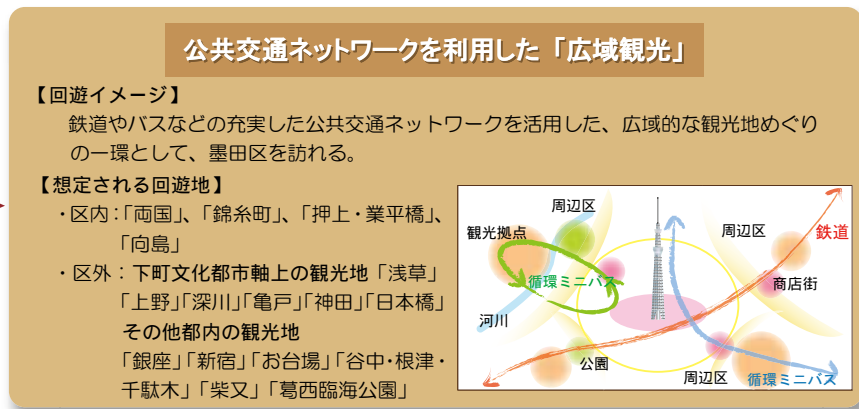
1. 総合交通戦略の基本方針（施策パッケージ¹）



1 施策パッケージ：必要なハード・ソフトの施策・事業を効果的に組み合わせたもの

来街者をもてなす観光回遊モデルの設定

2. 観光回遊モデルの設定



2 フリンジパーキング：自動車交通が集中する目的地や都心の外縁部に設ける駐車場のこと

04 総合交通戦略の施策展開

国際観光都市としてふさわしいまちづくりにあたり、ハード面、ソフト面にわたり検討すべき多様な交通施策を体系的に整理する

| 基本方針 | 項目別方針 | 交通施策 |
|------------------|---|--|
| 公共交通機関の 更なる充実 | 1 鉄道網の充実 | (1) 地下鉄8号線（有楽町線）の延伸（豊洲～押上～野田市） (2) 地下鉄11号線（半蔵門線）の延伸（押上～松戸） |
| | 2 路線バスの充実 | (1) 路線バスの新設・再編 (2) バス停の機能強化（地域観光情報の提供等） |
| | 3 公共交通の利用価値の向上 | (1) 交通結節点機能の強化 （乗り換えシステムの充実、ユニバーサルデザイン※1化等） (2) 既存の交通機関と連携した運賃制度の導入 （循環ミニバス・舟・レンタサイクル等） (3) 自家用車の周辺駐車誘導 （駐車場と一体となったレンタサイクル施設整備等） (4) 観光施設との連携による特典付与 |
| 多様な交通 手段の提供 | 4 自転車利用環境の充実 | (1) レンタサイクルシステムの導入 （斬新なデザインを有する魅力的な自転車の使用等） (2) サイクステーションの整備 （案内施設や利便施設等を併設した駐輪場） (3) 自転車通行環境の向上 （歩行者空間との分離等） |
| | 5 新たな交通機関の導入 | (1) 循環ミニバスの導入 (2) 河川を活用した新たな交通機関の導入 (3) 観光客にとって魅力的な交通機関の導入 （人力車、ペロタクシー※2、オープンバス、水陸両用車等） |
| 快適な交通 環境の形成 | 6 安全で快適な歩行環境の形成 | (1) コミュニティ道路（歩行者優先道路）の整備 (2) 休日における歩行者専用道路化 (3) 歩道等公共空間における街歩き環境の向上 （お休みベンチ、照明等人にやさしい工夫） (4) 街歩きスポットの整備（休憩・情報提供施設） (5) 公共交通関連施設におけるバリアフリー化の促進 |
| | 7 案内・誘導手段の充実 | (1) 観光客にやさしい総合的な観光情報の提供 （IC端末等の活用、街歩きガイドによる街歩き案内） (2) わかりやすい案内サインの設置 （ピクトグラム※3等） |
| 交通戦略の効果的な実現に向けて | 1. 街歩き観光を促進するPR・イベントの実施 2. 地域との協働による快適な歩行者空間の確保 3. 社会実験の活用（観光施設との連携による特典付与等） 4. 特区制度の活用（二人乗り自転車等の規制緩和） | |



1ユニバーサルデザイン：できるだけ多くの人々が利用可能であるように製品、建物、空間をデザインすること
 2ペロタクシー：VELO（ペロ）とはラテン語で自転車を意味し、ドイツで開発された自転車のタクシー
 3ピクトグラム：絵文字、絵ことばの総称。道路交通標識、空港や駅の案内板、非常口の表示など誰が見てもすぐに意味がわかるデザインの視覚記号

鉄道網の充実

地下鉄8号線(有楽町線)の延伸

概要・施策の方向性〈中長期施策〉

- ・区間：豊洲～東陽町～住吉～押上～四ツ木～亀有～野田市(運輸政策審議会答申第18号(平成12年1月27日))
- ・関係自治体により構成される「地下鉄8・11号線促進連絡協議会」*1において、事業化の可能性を検討する
- ・豊洲から住吉までの延伸は、東京湾臨海部の発展状況を踏まえ、促進要因である東京オリンピックの誘致を契機に、当面の課題として関係機関に働きかける



課題

事業採算性、事業主体、技術開発、補助制度の拡充

地下鉄11号線(半蔵門線)の延伸

概要・施策の方向性〈中長期施策〉

- ・区間：押上～四ツ木～松戸(運輸政策審議会答申第18号(平成12年1月27日))
- ・関係自治体により構成される「地下鉄8・11号線促進連絡協議会」において、11号線押上から四ツ木、松戸への延伸を採算面等の課題やこれまでの経緯を踏まえ、中期的な課題とする

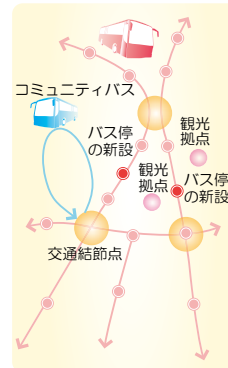
課題

事業採算性、事業主体、技術開発、補助制度の拡充

路線バスの新設・再編

概要・施策の方向性〈短期施策：～H23〉

- ・広域的な観光地巡りに配慮したバス路線網についてバス事業者と連携・検証し、必要に応じて、路線の新設・再編を事業者に促す
- ・他の交通機関との乗り換えに配慮したバス路線についてバス事業者と連携・検証し、必要に応じて、バス停位置の見直しを事業者に促す



課題

循環ミニバス等の他の交通機関との役割分担、道路管理者等との調整

路線バスの充実

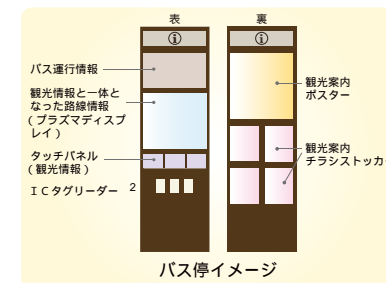
バス停の機能強化

概要・施策の方向性〈短期施策：～H23〉

- ・交通結节点や観光拠点に近いバス停では、運行情報のみならず地域観光情報を提供することで、街歩き観光を促進する
- ・ベンチの拡充等により、バスの待ち時間における快適性の向上を図る

課題

情報の管理方法、事業者との調整



公共交通機関の更なる充実

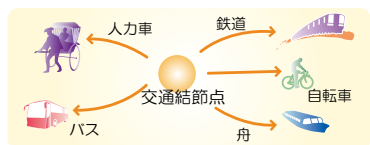
交通結节点機能の強化

概要・施策の方向性〈短期施策：～H23〉

- ・交通結节点：両国駅、錦糸町駅、押上駅・業平橋駅、曳舟駅
- ・鉄道事業者に対して乗り換えシステムの充実を促し、他の交通機関とのスムーズな乗り換えを可能にする
- ・鉄道事業者や周辺施設管理者に対してユニバーサルデザイン化を促し、外国人や高齢者などさまざまな利用者に対応する

課題

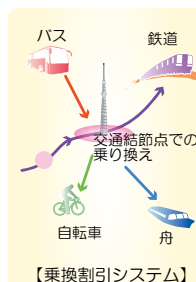
複数の事業主体に関連する場合の役割分担



既存の交通機関と連携した運賃制度の導入

概要・施策の方向性〈短期施策：～H23〉

- ・交通結节点において他の交通機関に乗り換える(鉄道→循環ミニバス、バス→レンタサイクル、鉄道→舟など)場合、割引料金を適用できるように、交通事業者に働きかける
- ・乗換負担の軽減を積極的にPRすることにより、公共交通機関での来訪を促す



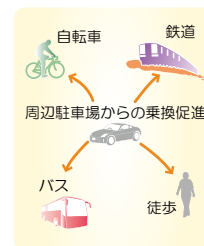
課題

交通事業者との調整

自家用車の周辺駐車誘導

概要・施策の方向性〈短期施策：～H23〉

- ・自家用車の集中が予想される区域から離れた駐車場への駐車を誘導する(フリッジパーキング)
- ・遠隔地の駐車場利用者に対して駐車料金の割引を行うなど、駐車場利用に対して特典を付与するよう事業者働きかける
- ・駐車場と一体となったレンタサイクル施設の整備を促進することにより、自動車から自転車への円滑な乗り換えを促す



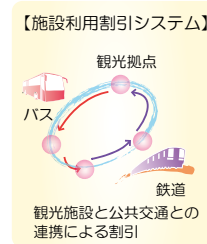
課題

周辺駐車場への駐車誘導に関する事前の周知方法
駐車場管理者と集客施設事業者との調整
レンタサイクル施設の整備費用

観光施設との連携による特典付与

概要・施策の方向性〈短期施策：～H23〉

- ・公共交通利用者の割引制度について、交通事業者と観光施設運営者に対して導入を促す
- ・割引制度について広く周知することにより、公共交通機関での来訪を促す



課題

交通事業者と観光施設運営主体との役割分担

公共交通の利用価値の向上

1 地下鉄8・11号線促進連絡協議会：地下鉄8・11号線の延伸に向けて、江東区、墨田区、葛飾区、松戸市、東京都、千葉県で構成される協議会

2 ICタグリーダー：ICタグと呼ばれる超小型のIC(集積回路)チップを組み込んだ小型装置に、無線通信装置を使って必要な観光情報等を書き込んだり、読み取るもの

自転車利用環境の充実

レンタサイクルシステムの導入

概要・施策の方向性 〈短期施策：～H23〉

- ・広告効果の活用などを誘導し、民間事業者の積極的な参画を促す
- ・複数の事業者が協働できる体制を整備し、周辺区と一体となった乗りずてシステムを構築する
- ・貸し出し自転車の一部として、斬新なデザインやユニークな機能を有する魅力的な自転車（レトロ調、外国車、二人乗り自転車など）を使用する
- ・潜在的な利用者の獲得に向けて、駐車場や宿泊施設等との連携を促す



広告入りレンタサイクル



デザイン自転車の導入イメージ

課題

事業採算性、事業主体、道路空間における走行ルール（歩行者とのすみ分け）

サイクルステーションの整備

概要・施策の方向性 〈短期施策：～H23〉

- ・交通結節点である押上駅前においては、収容能力が高く、シンボリックな駐輪場を整備し、自転車利用の一層の促進を図る
- ・自転車による「街歩き観光」を考慮して、適切な駐輪場位置・規模を設定し、その一部については民間による駐輪場の設置を促す
- ・整備にあたっては、利用したくなる魅力的な駐輪場をめざして、案内施設や便利施設の併設、デザインについても積極的に検討する



デザインがおしゃれな駐輪場



カフェのある駐輪場

課題

駐輪場以外の機能との連携

自転車通行環境の向上

概要・施策の方向性 〈短期施策：～H23〉〈中長期施策〉

- ・主要な路線で電線類地中化を進めて電柱を減らすなど、自転車で快適に街を回遊できるように自転車走行空間を確保する
- ・街歩きスポットや観光拠点での駐輪スペースを確保する
- ・来街者で賑わう公共空間については、自転車と歩行者とを空間的に分離する工夫を行う



自転車走行空間の確保



駐輪スペースの確保
（街歩きスポット等にて）

課題

関係機関との調整、歩行者の安全の確保、自転車の安全利用の促進

多様な交通手段の提供

循環ミニバスの導入

概要・施策の方向性 〈短期施策：～H23〉

- ・新タワーを中心に、区内循環型と区外も対象とした拠点連携型のルートを検討する
- ・バス利用における観光客と区民とのすみ分けを図る
- ・日常的に利用する区民に対する割引制度を検討する
- ・バリアフリー、環境に配慮した車両を使用する

課題

具体的なルート選定、他の交通機関との役割分担、乗り換え制度、事業主体、事業採算性



周辺区との連携



循環ミニバスイメージ

河川を活用した新たな交通機関の導入

概要・施策の方向性 〈短期施策：～H23〉〈中長期施策〉

- ・新タワー開業時には、試行的に短い区間での運行（新タワー～錦糸町・亀戸）を想定し、事業者の参画を促す
- ・江東区との連携をすすめ、既存の船着場を活用する
- ・中長期的には、船の通航の支障となる既設の樋門^{※1}を閘門^{※2}として再整備し、隅田川と江東内部河川が一体となった広域的な水上ネットワークを構築する
- ・船上から見て魅力的な水辺環境や街並み景観を整えるとともに、河川環境の向上に努める

課題

事業採算性、事業主体、水質の改善



和船の導入



船着場イメージ

観光客にとって魅力的な交通機関の導入

概要・施策の方向性 〈短期施策：～H23〉〈中長期施策〉

- ・区内最大の交通結節点となる押上駅周辺において集中的な導入を図り、新タワー来訪者に対して魅力的な交通手段を提供するため、事業者の参画を促す
- ・想定される導入交通手段：LRT^{※3}、人力車、ペロタクシー、オープンバス、水陸両用車

課題

事業採算性、事業主体、道路管理者等との調整、技術開発、補助制度の拡充



人力車



ペロタクシー

新たな交通機関の導入

1 樋門：水位が異なる水域において、低水位の河川へ水を取り入れるとともに水位調整を行う施設

2 閘門：水位が異なる水域において、2箇所の水門を活用することにより、船の行き来を可能とする施設

3 LRT：ライト・レール・トランジット（Light Rail Transit）の略で、低床車両、低騒音、高速化などを新技術の導入により実現し、利便性を高めた次世代型の路面電車システム

安全で快適な歩行環境の形成

コミュニティ道路（歩行者優先道路）の整備

- 概要・施策の方向性** 〈短期施策：～H23〉〈中長期施策〉
- ・タワー景観を楽しむタワービュー通り※1や、区内観光地をめぐる主要な道路を対象とする
 - ・歩行者と車両の共存をめざして、車両の速度抑制を促す仕掛けを設置し、デザインに配慮した歩道・車道の整備を行う



コミュニティ道路の整備



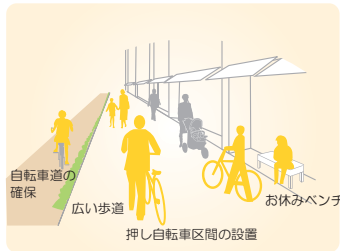
商店街とコミュニティ道路

- 課題**
- 歩行者の安全性確保

歩道等公共空間における街歩き環境の向上

- 概要・施策の方向性** 〈短期施策：～H23〉〈中長期施策〉
- ・街歩きの主要なルートとして想定される道路について、歩道に設置されている施設（横断防止柵、植栽、ガードレール、街路灯など）の再整備を行い、歩行空間を拡充する
 - ・沿道の地権者の協力を得て、ベンチを設置するなど、街歩きの途中で安全で快適に腰をおろせるような仕掛けづくりを検討する

- 課題**
- 有効幅員の確保、管理方法 道路関連施設の再整備に係る費用 区民の合意形成



公共交通関連施設におけるバリアフリー化の促進

- 概要・施策の方向性** 〈短期施策：～H23〉
- ・主要な公共交通である鉄道の駅において、上下階への移動を伴う場合、エレベーター、エスカレーターの設置等を鉄道事業者へ促し、高齢者や車椅子利用者など、さまざまな来街者に対応する
 - ・複数の事業者が関係する場合は、関係者が共通の認識のもとバリアフリールートを設定する場を設け、効果的な施設整備をめざす



エレベーター等の設置



円滑な乗り換えが可能な交通結節点

- 課題**
- 事業主体間の役割分担、鉄道駅に隣接する施設との連携

休日における歩行者専用道路化

概要・施策の方向性 〈短期施策：～H23〉〈中長期施策〉

- ・タワー景観や沿道商店街を楽しむことのできる道路を対象として、土日・祝日の歩行者専用道路化に向けて、交通管理者などの関係機関と協働で実現をめざす
- ・中長期的には、タワーから一定の範囲内について、土日の車両通行を禁止（関係車両等は通行可）とすることも視野に入れる



歩行者専用道路化



トランジットモール²

- 課題**
- 通行禁止区域外に発生する渋滞、荷さばき車両等関係車両の通行、関係機関や地元住民との調整

街歩きスポットの整備

概要・施策の方向性 〈短期施策：～H23〉

- ・街歩き観光の休憩施設として、トイレ、観光情報提供施設、自転車置き場などを備えた施設を区内各所に配置する
- ・可能な限り既存の施設を活用し、機能を充実させることによって、街歩きスポットとして認定する
- ・新たに設置する場合には、民間事業者との役割分担のもと整備を行う



観光案内のある街歩きスポットイメージ



賑わい施設のある街歩きスポットイメージ

- 課題**
- 整備主体、管理方法

快適な交通環境の形成

わかりやすい案内サインの設置

概要・施策の方向性 〈短期施策：～H23〉

- ・新タワーの開業により増加が予想される外国人観光客をはじめ、さまざまな来街者に対応するため、ピクトグラム等を活用して、誰もが一目で分かる案内や誘導を行うよう施設管理者等へ促す

観光客にやさしい総合的な観光情報の提供

概要・施策の方向性 〈短期施策：～H23〉

- ・観光客を円滑に目的地へ導くため、主に観光拠点や交通結節点において、墨田区の魅力と移動手段を総合的に案内する
- ・案内にあたっては、IC端末等による便利な機器の導入に加えて、街歩きガイドによる街歩き案内が行えるよう、観光協会やボランティア団体等との連携を図る
- ・外国人観光客がスムーズに情報を入手できるよう、外国語での案内が可能な体制の強化を図る



街歩きガイドによる街歩き案内

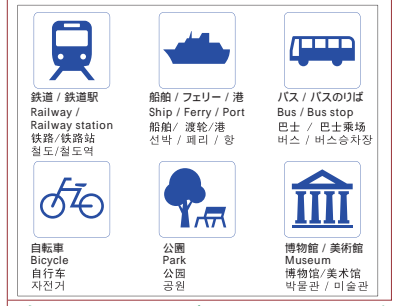


IC端末を利用した街歩き情報等の提供

- 課題**
- 継続的な案内システムの運営

- ・スムーズな街歩きを促すため、想定される主要なルート上や観光施設の分かりやすい場所に、現在地や目的地の方向が分かる案内やサインの充実を図る

- 課題**
- 役割分担、デザインの統一 ピクトグラム例



案内・誘導手段の充実

1 タワービュー通り：墨田区観光振興プラン（改訂版）において、シンボル事業として位置付けられているもの
2 トランジットモール：一般車両を制限し、歩行者や自転車の快適な空間を提供しつつ、バスやLRT等の公共交通に道路を開放する形態

街歩き観光を促進するPR・イベントの実施



各種イベントでのPR



街歩きガイドによるPR

概要・施策の方向性

- ・タワー開業に向けた宣伝・イベントに合わせ、公共交通での来訪の事前呼びかけや、区の楽しい街歩きをPRする
- ・観光情報誌等を活用して、新タワー周辺の魅力的な交通手段や交通利便性、街歩きのためのルートや街歩きスポット等についてPRする
- ・街歩きガイドにより街歩きの魅力をPRする
- ・外国人観光客も対象とした効果的なPR・イベントの支援を行う

課題

タワー事業者との役割分担、観光プロモーション※1の充実

地域との協働による快適な歩行者空間の確保

概要・施策の方向性

- ・快適な歩行者空間を確保するため、地域での歩道空間の利用マナーの向上を図る
- ・地域と事業者との協働により、来街者をもてなすため、お休みベンチ、駐輪スペース等を提供する
- ・気軽に道案内に応じるなど、高齢者や外国人をはじめとする来街者が安心して快適に移動できるよう、国際観光都市としての雰囲気づくりを進める

課題

地域や事業者との協働に向けた計画づくり



押し自転車区間の導入



お休みベンチの提供



国際観光都市の雰囲気づくり



利用マナーの向上

交通戦略の効果的な実現に向けて

社会実験の活用



ペロタクシー（通称シクロ）



和船



水陸両用バス



オープンバス

概要・施策の方向性

- ・「観光施設との連携による特典付与」や「ペロタクシーの導入」など、期間を限定して試験的に施策展開すること（社会実験）で、社会的認知度の向上を図り、恒久的な実施へと展開する
- ・社会実験の結果を踏まえて、本格導入方策を検討する

課題

実施時期、実施範囲

特区制度の活用

概要・施策の方向性

- ・二人乗り自転車やトランジットモール化など、道路交通法などにより制限がある施策については、特区制度※2を活用した規制緩和についても検討する

課題

導入に向けての関係機関との協議、地元住民との調整、通行安全の確保（道路交通法の場合）



二人乗り自転車



トランジットモール化イメージ

1 観光プロモーション：墨田区観光振興プラン（改訂版）において、シンボル事業として位置付けられているもの（ツール例：プロモーションビデオ、各種観光マップ、すみだグッズ）
2 特区制度：民間や行政等の発案により、規制の特例措置を導入する区域（特区）を設けて、地域の活性化等をめざすと同時に、全国的な規制改革へと波及させる制度

09 交通施策の推進目標スケジュール

| 基本方針 | 項目別方針 | 短期 | | | | 中期 | 長期 | |
|------------------|---------------|--------------------------------------|--------------------------|---------------------------|--------------------|------------------------------|-------------|--|
| | | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 【新タワー開業】 | 平成24～28年度 【オリンピック:平成28年度】 | 平成29年度～ | |
| 公共交通機関の 更なる充実 | 鉄道網の充実 | 「地下鉄8・11号線促進連絡協議会」における検討や事業化に向けた手続き等 | | | | | | |
| | 路線バスの充実 | バス路線の検証、バス停の機能強化に向けた検討 | | バス路線の新設・再編、バス停の機能強化 | | | | |
| | 公共交通の利用価値の向上 | 交通結節点機能強化に向けた検討 | 交通結節点機能の強化（バリアフリー化等） | | | | | |
| | | 既存の交通機関と連携した運賃制度の導入に向けた検討 | 既存の交通機関と連携した運賃システムの構築 | | | | | |
| | | 自家用車の周辺駐車誘導に向けた検討 | 周辺駐車誘導策（併設駐輪場、割引制度）の実施 | | | | | |
| | | 公共交通利用者に対する施設割引制度導入に向けた検討 | 割引システムの構築、積極PR（社会実験の活用等） | | | | | |
| 多様な交通 手段の提供 | 自転車利用環境の充実 | レンタサイクルシステムの導入に向けた検討 | | レンタサイクルシステムの構築 | | | | |
| | 新たな交通機関の導入 | 循環ミニバスの導入に向けた検討 | | 循環ミニバスの導入 | | | | |
| | | 舟運の導入に向けた検討 | | 舟運の導入 | | | | |
| | | 船着場整備 | | | | | | |
| | | 魅力的な交通機関の導入に向けた事業者の募集等 | | | | | 新たな交通機関の導入 | |
| | | | | | | | 水上ネットワークの構築 | |
| 快適な交通 環境の形成 | 安全で快適な歩行環境の形成 | コミュニティ道路整備に向けた検討 | | コミュニティ道路としての舗装・速度抑制機能の整備 | | | | |
| | | 休日の歩行者専用道路化に向けた検討・関係機関調整 | | 歩行者専用道路化（社会実験の活用） | | | | |
| | | 街歩き環境の向上に向けた検討・設計 | | お休みベンチ、照明等人にやさしい施設の整備 | | | | |
| | | 街歩きスポット認定・整備 | | | | | | |
| | 案内・誘導手段の充実 | バリアフリールートの設定に関する関係事業者調整 | | 公共交通関連施設におけるバリアフリー対応設備の導入 | | | | |
| | | 総合的な観光情報の提供に向けた検討・関係者調整 | | IC端末や街歩きガイドによる総合的な観光情報の提供 | | | | |
| | | 案内やサインに関する検討・関係事業者調整 | | ピクトグラム等の一目でわかる案内サインの設置 | | | | |
| | | | | | | | | |

◇各交通施策は区が主体的に取りまとめたものですが、国・都・区・民間事業者等が主体的に、あるいは相互の連携により推進するものを含んでおり、今後、変更が生じる場合があります。

◇墨田区が主体的に実施する施策につきましては、墨田区基本計画に基づき、実現に向けて優先的に検討・整備を進めてまいります。